

緑が丘

学校教育目標

自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校

学校通信 NO. 12

令和5年3月1日発行

「大きな節目を越え 次のステージでの飛躍を誓う」

まだまだ寒い日が続きますがずいぶん日差しが柔らかくなりました。学校の桜のつぼみも少しずつ膨らみ、花壇のチューリップも芽を出し始めています。春の足音が聞こえてきました。

令和4年度もいよいよ最後の月を迎えました。今年1年間機会あるごとに「節目」ということを生徒の皆さんにお話してきました。「節目」を意識し、その時々に関心できることを精一杯やることのできたでしょうか。しっかりと節目を創ることができたでしょうか。自分の成長を感じることができたでしょうか。卒業式・修了式を目前に控えた学年末、3月は今年度を締めくくると大きな節目となります。進学や進級にむけてしっかりと心構えをする絶好の機会と捉えてもらいたいと思います。



春を待つ校舎



3年生の皆さんにとっては緑が丘中学校で過ごすのもあと2週間あまりとなりました。思いかえせば3年前。入学式の翌日から学校は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため突然の臨時休校となりました。1か月余りにわたる休校の後、ようやく再開された学校。しかし、ソーシャルディスタンスの確保、三密の回避、未知のウイルスへの警戒から学校行事は、中止や規模縮小など様々な制限がありました。何よりもマスクの着用や給食時の黙食などほんとうに窮屈な思いをしたと思います。徐々に制限は緩和されたとはいえ今年1年も新型コロナウイルスの影響で、学校の教育活動には多くの制約がありました。そのような中でも、皆さんは、様々な場面で核となって活動しました。できることを精一杯やり切りその中に楽しみや充実感を見出し、不満を言わず「楽しかった」と言ってくれたことがとてもうれしかったです。そんな3年生のみなさんいよいよ巣立ちの時を迎えます。義務教育9年間の過程を終え4月からはそれぞれのステージへ進んでいきます。3年間の友との思い出を胸に、自信を持って自分の道を歩んでほしいと思います。

1・2年生の皆さんも修業式まであと3週間です。学年、学級での活動や1年生は、ものづくり体験、校外学習、2年生は、京都校外学習、トライやる・ウィークなどの大きな行事を通して確実な成長を見せました。今年は、いろいろな場面で先輩の背中を追いかけた1年間だったと思います。次は皆さんの番です。2年生は最上級生として、1年生は学校の中核として活躍するステージがもう目の前に来ています。活躍する自分をイメージし、自覚をもってこの3月を過ごしてほしいと思います。

さて、保護者や地域の皆様には、この1年間多くの面で学校運営にご理解とご協力を賜りました。改めてお礼申し上げます。昨年12月に学校評価の一環として、保護者の皆様アンケート調査を依頼しましたところ、ご多用の中306名の方にご回答をいただきました。アンケート結果を基に学校関係者評価委員会を2月20日に開催し、評価委員の皆様には学校評価の結果及び改善方策、評価方法の適切さについてご意見を伺いました。また、学校関係者評価書は3月中旬にはホームページで公開いたしますのでそちらも合わせてご覧ください。来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

校長 西臺 士郎

2月にはこんなことがありました。



PTA 実行委員会



入学説明会



生徒会専門委員会



全校朝会



学校保健委員会



教職員タブレット研修



トライやる・ウィーク発表会



第2回オープンスクール



トライやる推進委員会



学校関係者評価委員会



美術部「ゴルフのまち」三木市のぼり旗制作



3月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。